

総合交通計画の構成等について

必須項目や他市事例等も参考に、**青枠内**の構成を作成。これを基に、**具体の記載内容の検討を進める。**

必須の要素

戦略 (施策重視)	公共交通計画 (サービス重視)
・区域	・区域 ・期間
現状と課題	
・将来像	・基本的な方針 ・目標
・目標	・目標
・必要な施策・事業	・事業・実施主体
・主体の役割を踏まえた実施プログラム	・評価関連事項
・推進体制	

1 計画策定の趣旨等

資料3
左側

- ・背景・目的／位置づけ
- ・区域
- ・期間

2 尼崎市の現状と課題

- ・現状
 - 社会情勢
 - 移動実態
 - 交通基盤・サービスの状況
 - 市民、在勤・在学・来訪者等のニーズ
- ・課題

3 基本方針と目標

資料3
右側

- ・基本方針(都市が目指す将来像)
- ・目標

4 目標実現に向けて

- ・実施する施策・事業
- ・評価指標・目標値
- ・実施プログラム
- ・推進体制

統計データ分析

国勢調査、パーソントリップ調査、道路交通センサス、尼崎市統計書ほか

現状(分析項目)

- ▶ 人口
将来推計 / 年齢4区分別人口 / 人口密度分布
昼間・夜間人口 / 従業者・就業者 他
- ▶ 施設分布
鉄道駅 / 公共施設 / 商業施設 / 医療施設
福祉施設 / 各種事業所 他
- ▶ 日常生活等の変化
テレワークの状況 / 行動の変化
- ▶ 観光・レジャーの動向
観光入込客数 / 宿泊者数 / 観光施設の分布
インバウンド関係 / 大阪・関西万博との関連動向
- ▶ まちづくりの取組 (財政状況含む)
駅周辺のまちづくり / 環境面の取組 他
- ▶ 移動実態
人の動き(量)の推移 / 自転車利用・免許返納数
子育て世帯、高齢、障害のある方の目的・手段 他
- ▶ 交通基盤・サービスの状況
鉄道・バス・タクシー・自動車・自転車等の体系・状況等
特に、駅施設の状況、バスネットワーク・輸送人員 など

課題(イメージ)

- ▶ 駅は、徒歩・自転車によるアクセス中心。阪神尼崎、阪急塚口・武庫之荘は、バスによるアクセスが多い。
- ▶ 一部拠点駅でバリアフリー化が課題。
- ▶ バス停から300m圏の円で市域の大部分が網羅される。
- ▶ 運転免許や自家用車を持たない市民は比較的多い。運転免許返納者数は…。
- ▶ 自転車の利用割合が高く、自転車の代表交通手段分担率・保有台数は…。
- ▶ 道路は、一部路線で混雑度が高い区間が残っている。臨海地域のネットワーク機能は十分とは言えない。

など

【参考A】: 都市計画マスタープラン(R5.4.25時点抜粋)
さらに、R5.3.14開催の分科会検討資料も含む

【参考B】: みどりの基本計画 概要版(R5.5.15時点)

【参考C】: 第6次尼崎市総合計画(抜粋)

● 統計データ分析の補完(アンケート調査) 資料4

- ①個人を対象とするもの
 - ・18~90歳の市民対象(1800人抽出)
 - ・在勤・在学・来訪者に対するWEB調査
 - ・公共交通利用者に対するWEB調査で、サンプル数等を補完
- ②事業所を対象とするもの
 - ・一定規模以上の事業所対象(1000事業者抽出)

データの補完や
考え方の補強に使用